麻薬年間届の記載例

（氏名の欄）
麻薬診療施設：麻薬管理者(麻薬施用者１人の場合は施用者)の氏名を記載
麻 薬 研 究 者：麻薬研究者の氏名を記載
麻薬小売業者：(法人開設)名称及び代表者名を記載
(個人開設)開設者氏名を記載

令和　　年　　月　　日

麻 薬 年 間 届

長崎県知事　　殿

麻薬業務所所在地　長崎市〇〇町〇番〇〇号
麻薬業務所名称　〇〇医院
免 許 の 種 類
免 許 番 号　□□□□□□
氏名（法人にあっては、名称）　（押印不要）

品　名 ※1	単位 ※2	前年10月1日在庫数量	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日在庫数量	備　考
			受入数量	払出数量		
ﾓﾙﾋﾈ塩酸塩水和物	g	12.5		2.0	10.5	事故届0.5g R2.12.4届出　※4
ﾍﾟﾁｼﾞﾝ塩酸塩注射液35mg	A	25	20	35	10	麻薬譲渡許可（〇〇発〇〇第〇〇号、R2.12.3）により〇〇Aを譲渡　※3
ｺﾃﾞｲﾝﾘﾝ酸塩末	g	60	25	70	15	廃棄届 20g　R3.7.3届出　※4
MSｺﾝﾁﾝ錠10mg	T	20	100	80	70	※6　※8
MSｺﾝﾁﾝ錠10mg	T		(30)			※5
ｺﾃﾞｲﾝﾘﾝ酸塩10%散	g	45	700	600	145	原末より調製　※7
ｺﾃﾞｲﾝﾘﾝ酸塩散10%	g	25	200	180	45	製品　※7
ｵｷｼｺﾝﾁﾝ錠5mg	T	0	114	98	16	
ｵｷｼｺﾝﾁﾝ錠5mg	T		(14)	(28)		薬局間譲渡・譲受　※9

記載にあたっての注意事項は以下のとおりです。

※１　品目別に記載してください。ただし、原末より調製したものと製品は、別掲として記載欄を設けてください。

※２　単位は、ｇ、Ａ（ｱﾝﾌﾟﾙ）、Ｔ（錠）、ｍＬ、Ｖ（ﾊﾞｲｱﾙ）、包、枚などを記載してください。

※３　麻薬譲渡許可により麻薬を譲渡した場合は、備考欄に許可番号、許可年月日及び譲渡数量を記載してください。

※４　麻薬廃棄届を提出して廃棄した麻薬及び麻薬事故届を提出した麻薬については、備考欄にその旨及び数量、届出年月日を記載してください。なお、調剤済麻薬廃棄届を提出した麻薬については、記載の必要はありません。

※５　入院患者から再利用として当初から受け入れた返納麻薬については、別掲の受入数量欄に（　）書きで数量のみを記載してください。

※６　入院患者から返品された麻薬を再利用（予定を含む）した場合の届出書作成の考え方は、次のとおりです。
〔例〕20（期始在庫数量）＋100（麻薬卸売業者からの受入）＋30（再利用）－80（払出）＝70

※７　コデインリン酸塩10％散等、その診療施設で調製した麻薬又は製品である麻薬の記載については、原末を記入した次の欄に、原末に換算することなく調製した量をそのまま記入し、前者については「原末より調製」、後者については「製品」と備考欄に記入してください。

※８　ＭＳコンチン錠10mgのように100Ｔ、200Ｔなど包装単位が異なるものは、あわせた数量を記載してください。

※９　麻薬小売業者間譲渡許可に基づいて行った譲渡・譲受については、品名毎に、内数として（　）書きで併記してください。

※10　9月30日現在、麻薬小売業者の許可を取得していて１年に満たない場合は、前年10月1日在庫数量は「０」と記載してください。なお、麻薬小売業を廃止したものから麻薬を譲り受けた場合は、受入数量に含めて記載し、備考欄に「R3.2.1. 〇〇薬局から15錠譲受」などと記載してください。